

1 経済日誌

2019年8月～2019年11月

全 国		和歌山・大阪	
8月2日	輸出優遇 韓国を除外 政府は、安全保障上の輸出管理で優遇措置を適用する「ホワイト国」から韓国を除外する政令改正を閣議決定した。7日に公布し、28日に施行する。	8月7日	大阪メトロ 純利益 38% 減 大阪市高速電気軌道（大阪メトロ）が発表した2019年4～6月期の連結決算は、経常利益が前年同期比39%減少し88億円、純利益は38%減少し58億円だった。
8月8日	経常黒字 4% 減 財務省が発表した2019年1～6月の国際収支統計（速報）によると、経常収支は10兆4676億円の黒字だった。前年同期と比べた黒字額は4%の減少となった。	8月27日	大阪府、大阪市 港湾管理一元化へ 大阪府と大阪市は、府と市で別々に管理している大阪湾の9港の管理を一元化する「府市港湾局」を設置する方針を発表した。2020年10月の業務開始を目指す。
8月19日	輸出 8カ月連続減 財務省が発表した7月の貿易統計は、輸出が前年同月比1.6%減の6兆6431億円となった。米中貿易戦争の影響を受け、8カ月連続で前年水準を下回った。	9月19日	大阪 IR 3事業者提案 大阪府市は、夢洲への誘致を目指す統合型リゾート施設（IR）の事業コンセプト募集に米大手を含む3社から正式な応募があったと発表した。
9月18日	訪日客、韓国 48% 減 日本政府観光局が発表した8月の訪日外国人旅行者数によると、韓国からの旅行者数は前年同月比48%減の30万8700人と、ほぼ半減した。	9月19日	和歌山県基準地価 29年連続下落 和歌山県は、県全体の基準地価（7月1日時点）の平均変動率（林地を除く）が前年比1.1%減で、29年連続の下落となったと発表した。
9月19日	基準地価、地方の商業地が上昇 国土交通省が発表した2019年の基準地価（7月1日現在）は、3大都市圏を除く地方圏の商業地の平均が前年比0.3%上昇。上昇は28年ぶり。	9月19日	大阪府下の商業地、7年連続上昇 大阪府は、7月1日時点の基準地価を公表した。前年と比べた商業地の上昇率は8.7%（前年は5.7%）で7年連続の上昇となった。
10月1日	消費税 10%、5年半ぶり増税 消費税率が8%から10%に5年半ぶりに引き上げられ、酒類を除く飲食物品などの税率を8%に据え置く「軽減税率制度」が初めて導入された。	10月16日	南紀白浜空港 チャーター便を運航 和歌山県は、南紀白浜空港と国内の地方11空港を結ぶチャーター便を10月18日から12月12日までの間の15日程で計29便を運航すると発表した。
10月8日	日米貿易協定に署名 日本と米国は、ワシントンで新しい日米貿易協定に正式に署名した。日米両政府は2020年1月1日の発効を目指し、国内手続きを進める。	10月21日	来阪の訪日客 623万人で最高 大阪観光局が発表した2019年上半期（1～6月）の訪日外国人の大阪への来訪者数は、前年同期比6%増の623万3千人と過去最高となった。
10月18日	景気判断 5カ月ぶり下げ 政府が公表した10月の月例経済報告で、「緩やかに回復」の基調判断を維持しつつ「輸出を中心に弱さが長引いている」として総括判断を5カ月ぶりに下方修正した。	11月5日	大阪メトロ 民泊参入 大阪メトロは、民泊事業に参入する。大阪市浪速区にマンションを建設中で、営業規制がない特区を活用し、2021年2月の開業を目指す。
10月29日	台風19号 激甚災害と非常災害に指定 政府は、台風19号の被害を激甚災害と大規模災害復興法に基づく「非常災害」に指定する政令を閣議決定した。大規模災害復興法適用は、2016年の熊本地震以来2例目となる。	11月9日	ねんりんピックが和歌山で開幕 全国の高齢者がスポーツや文化活動を通じ交流を深める「第32回全国健康福祉和歌山大会（ねんりんピック紀の国わかやま2019）」が開幕した。

2 地域開発のうごき

2019年8月～2019年11月

和歌山県内

8月5日 ホテル改修し福祉施設オープン

太地町は、隣接する那智勝浦町でホテルを改修した福祉施設「太地町地域福祉センター榎」をオープンした。温泉浴場、介護予防のトレーニング機器を備え、災害時は避難所となる。

8月7日 和歌山市民会館新築工事の起工式

和歌山市の新市民会館の起工式が、同市七番丁で開かれた。新市民会館は、地上5階建て（一部地下1階）で大小のホールや展示室、会議室などを備え、開館は2021年秋の予定。

8月7日 JR紀伊田辺駅 建て替え完了

JRきのくに線の紀伊田辺駅（田辺市湊）の建て替え工事が完了し、完成式典が行われた。新駅舎は鉄骨平屋で、延べ床面積は338平方メートル、昨年5月に建て替えに着手していた。

8月19日 和歌山城前に新キャンパス

学校法人山本学園が運営するIBW美容専門学校の和歌山城キャンパス新棟が完成し、竣工式が行われた。新キャンパスは、和歌山都市計画北汀丁地区第一種市街地再開発事業の一部。

8月20日 高野下駅に駅舎ホテル

南海電気鉄道は、高野線の高野下駅を改修した駅舎ホテルを11月初旬に開業すると発表した。大正建築の近代化産業遺産である駅舎をリノベーションし、全国的にも珍しい関西初の駅舎ホテル。

10月1日 白浜に3カ所目のITオフィス

白浜町と和歌山県は、同町で3カ所目となるITオフィスを整備する民間企業が決まったと発表した。町内の第1、第2オフィスは公設公営だが、3カ所目は初の民設民営で供用開始の予定。

10月9日 コスモパーク加太に企業進出

友信化学（大阪府和泉市）が、和歌山市加太のコスモパーク加太に新工場建設を決め、同社と和歌山県、和歌山市で進出協定を締結した。2021年1月操業を予定、投資額は9億3400万円。

11月6日 田辺市新庁舎 2300人避難対応

田辺市は、同市東山に移転する新庁舎について、基本設計の概要を発表した。新庁舎は、鉄筋コンクリート6階、地下1階で駐車場と多目的ホールが2300人収容可能な一時避難エリアとなる。

11月16日 ロケット発射場 起工式

小型の人工衛星を搭載するロケット発射場の起工式が串本町で行われた。民間が運営する衛星搭載ロケットの発射場としては、日本初となり2021年度中の打ち上げ開始を目指す。

3 地域開発のうごき

2019年8月～2019年11月

大阪府内

8月5日 JR西日本系、JR京橋駅近くにビジネスホテル開業

JR西日本子会社のジェイアール西日本デイリーサービスネットは、大阪市都島区にビジネスホテル「ヴィアイン大阪京橋（仮称）」を2020年12月に開業予定であると発表した。

8月7日 道頓堀角座跡地に複合商業施設開発

コスモス薬品は、大阪市中央区道頓堀の松竹芸能角座跡地にホテルを含む複合商業施設（12階建て）を開発すると発表した。投資額は約150億円、2020年11月の完成を目指す。

8月17日 高速パーキングエリアにカプセルホテルがオープン

阪神高速4号湾岸線 泉大津パーキングエリア11階にカプセルホテル「HOSTEL O2」（客室112室）がオープンした。高速道路上のカプセルホテルは全国で初めて。

9月17日 再生可能エネルギー100%の街

パナソニックは、必要な電力を全て再生可能エネルギーでまかなうなど、最先端の技術を採用入れた「スマートタウン」を吹田市の工場跡地に建設すると発表した。

9月27日 新大阪で大型オフィスビルを開発

JR西日本不動産開発は、大阪市淀川区においてオフィスビルの開発に着手したと発表した。本開発は、関西都市圏における同グループ初の大型オフィス開発で、2022年春竣工を予定。

10月1日 レンゴー、関西最大級の物流拠点

レンゴーは、大阪市福島区に同社で関西最大規模の物流拠点の建設に着手したと発表した。テナント型の物流施設として住友商事と共同で建設、2021年度中の稼働を目指す。

10月1日 難波に34階建てホテルを開発

大成建設は、タイのホテル運営会社センタラ・ホテル&リゾートなど2社と、大阪市浪速区で高級ホテルを開発すると発表した。客室数は515室、2023年半ばの開業を見込む。

11月1日 山門一体型ホテルが開業

御堂会館の跡地（大阪市中央区）に山門と一体で建設した「大阪エクセルホテル東急」が開業した。17階建てで、5～17階は同ホテルで全364室、山門一体型のホテルは日本初。

11月16日 「リンクスウメダ」が開業

ヨドバシHDは、大型商業施設「リンクスウメダ」を大阪市北区に開業した。隣接するヨドバシカメラマルチメディア梅田と合わせた売り場面積は、商業施設として日本最大級となる。

4 関西国際空港

2019年8月～2019年11月

関西国際空港

8月5日 関空-チューリッヒ線を新規就航

関西エアポートは、スイス インターナショナル エアラインズが関空-チューリッヒ線を2020年3月2日より週5便で就航すると発表した。同線は、2001年夏以来18年ぶりの運航となる。

8月21日 関空-奄美線を新規就航

ピーチ・アビエーションは、関空-奄美線を12月26日からデイリー便で就航すると発表した。同社の奄美発着路線は、10月1日から運航を始める成田-奄美線に続く2路線目となる。

9月16日 関空-ドーハ線を就航

カタール航空は、関空-ドーハ線を2020年4月6日から週5便で就航すると発表した。同航空は、同線を2016年3月31日に運休しており、約4年ぶりの運航となる。

9月25日 顔認証ゲートで本人確認スタート

訪日外国人の出国時に顔認証技術を使い本人確認するゲート15台の運用が始まった。日本に90日以内の短期滞在で訪れ、ICチップが組み込まれたパスポートを持つ外国人が対象。

10月8日 関空-モスクワ線を就航

アエロフロート・ロシア航空は、関空-モスクワ・シェレメチェヴォ線を2020年6月15日から週4便で就航すると発表した。同線を2013年まで運航しており、約7年ぶりの運航となる。

10月15日 関空-ハルビン線ほか3路線を新規就航

関西エアポートは、上海吉祥航空が関空-ハルビン線、関空-武漢線をデイリー便で、関空-温州線を週4便で、関空-常州線を週3便で、いずれも10月27日から就航すると発表した。

10月21日 関空-北京線、関空-連運港-蘭州線を新規就航

関西エアポートは、海南航空が関空-北京線を10月29日から週5便で、関空-連運港-蘭州線を11月25日から週2便で就航すると発表した。

10月24日 冬季の韓国線3割減

関西エアポートは、関空の2019年冬季(10月末～3月下旬)の運航スケジュールを発表した。日韓関係の悪化を受け、関空発着の韓国路線は、前年同期比31%の減便となる見通し。

11月1日 ピーチ・アビエーションとバニラ・エアの統合完了

ピーチ・アビエーションは、バニラ・エアと統合が完了したと発表した。統合後のピーチ・アビエーションは、年間輸送旅客数において国内3位の航空会社、国内1位のLCCとなる。

11月13日 関空-鄭州線、関空-重慶線を新規就航

関西エアポートは、中国西部航空が関空-鄭州線、関空-重慶線を11月26日から、それぞれ週3便で就航すると発表した。同航空の日本への就航は今回が初めて。